

【担当教員名】 小林量作 佐藤成登志	対象学年	2	対象学科	理学
	開講時期	後期（前半）	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【＜概要＞又は＜一般目標：GIO＞】

- ADLについての基本的な知識を習得する。
- 実習で接する代表的な疾患のADLについて学習する。
- 問題点に対する目標設定、プログラム立案までできる。
- 学生のグループが学習・発表を体験する。

【＜行動目標：SBO＞】 ※行動目標（SBO）として記述する場合はSBO番号を付記すると共に、下のSBO番号欄に該当する番号を記入して下さい。

- 概念について理解する。
- 評価について理解し、各種評価方法の特徴について理解する。
- 起居・移動動作、身の回り動作指導について理解する。
- 各種疾患のADLについて理解する。
- 問題点を抽出し、プログラムを立案できる。
- 福祉用具についての理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	※SBO番号欄は該当する行動目標(SBO)の番号を記入して下さい。 (必要に応じ野線を引いて下さい。)	
		SBO番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	概念、範囲、分類	1	講義 小林
2	ADL評価（総論）	1	講義 小林
3	ADL評価（各種方法 1）	2	講義 小林
4	ADL評価（各種方法 2）	2	講義 小林
5	起居・移動動作 1	3	講義 小林
6	起居・移動動作 2	3	講義 小林
7	起居・移動動作 3	3	講義 小林
8	身の回り動作 1	3	講義 小林
9	介助方法	3	講義 小林
10	住環境（住宅改修・福祉用具）	6	講義 小林
11	ADLプログラムの立案と指導 1	5	講義 小林
12	片麻痺のADL	4	講義 小林
13	脊髄損傷のADL	4	講義 小林
14	関節リウマチのADL	4	講義 小林
15	骨関節疾患のADL	4	講義 佐藤

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書	日常生活活動学・生活環境学	鶴見隆正編	医学書院	2005
参考書	日常生活活動（動作）—評価と訓練の実際—	土田弘吉・他編	医歯薬出版	1992年
	日常生活活動（ADL）	橋本 隆・他編	神隆文庫	1998年
その他の資料	資料配付			

【評価方法】 出席、発表、レポート、小テスト、期末試験、その他	【履修上の留意点】 教科書の予習を必ず行うこと。
------------------------------------	-----------------------------

理学療法学科 専門